

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■施工前のお願い

1 検品について

●納品時に、各部材を必ず検品してください。万一、製品に不具合があった場合は、必ず施工前に買い求め店までご連絡ください。(施工完了後の色調・木理具合・キズなどによる交換はできません。)

2 取扱いについて

- 運搬・加工時には、キズのつかないようにていねいにお取扱いください。又、開梱状態で直接水がかかったり、直射日光の当たる場所に置くことはお避けください。ソリ・ねじれなどの原因となります。
- 水濡れ厳禁…本製品は室内用です。直接水がかかったり、極端に湿度が高い所や土足による使用はできません。
- 階段部材は基材・化粧単板ともに乾燥しており、当部材よりカビ・青ジミはありません。運搬中・施工中での水濡れ・洗い作業で水分を与えますと、基材のフクレや化粧単板の割れ・青ジミなどの発生原因となります。万一濡れた場合は、すぐに乾いた布などでふき取り、乾燥させてから養生してください。

■施工時のお願い

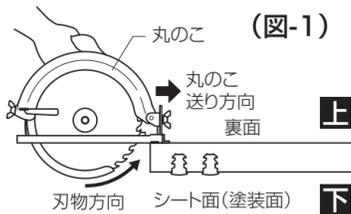
※集成材仕様の施工について

- ・無塗装品については、必ず表面と裏面も現場で塗装を行ってください。
- ・集成材は湿度の変化により木材特有の伸縮が発生し、施工後にソリ、亀裂、すき間などが発生する場合があります。十分に補強を行ってください。

1 切断・加工

●側板へ分割しただがって墨出しをしていきます。踏板を大入れにする仕口のきざみを行うときは、あらかじめ表面単板のササクレ、単板はくり、シートをめくれを防ぐためにカッターナイフなどでけびき処理を行ってください。

- 電動カッター・丸ノコなどを使用する場合、逆目になった方にササクレが起こりやすいので、刃物の進行方向にご注意ください。(図-1の要領でカットしてください。)



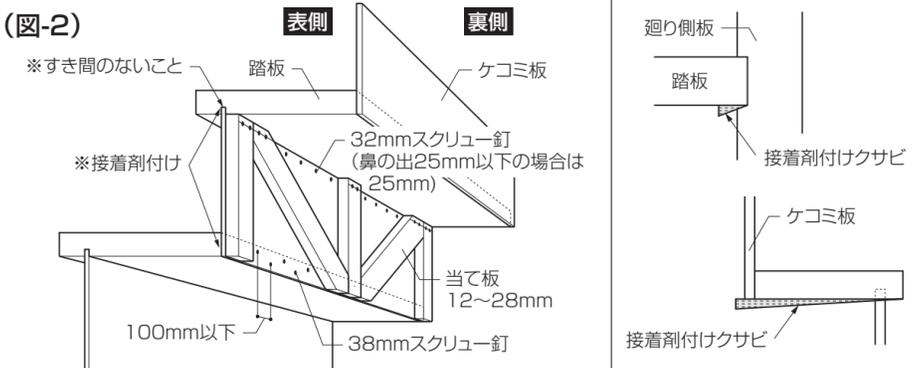
側板への加工は、10mm以上の大入加工をしてください。

2 取付け

- 躯体(柱)との取付けに、釘・ねじなどを使用する場合は、部材の割れを防止するため、使用する金物径の5~7割のガイド穴をあけてください。
- 部材どうしを接着する場合は、塗装面を荒らしてから接着してください。踏鳴りや、ガタツキ防止のため、接着剤は「コニシ:ネダボンドW1000」をご使用ください。
- 施工完了後、48時間(接着剤の硬化時間による)は不要な力をかけないでください。接合部の接着不良によるガタツキなどの原因となります。

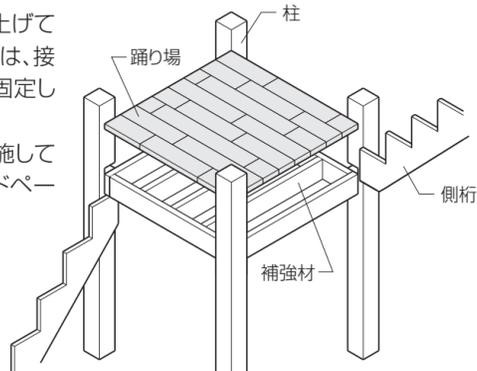
3 踏板・ケコミ板の取付け(図-2、3、4)

- 踏板のケコミ溝は幅6mmとし、ケコミ板の溝に入る部分に接着剤を付けて、上端にすき間ができないように施工してください。
- ケコミ板上部とケコミ溝との固定は、ケコミ板の溝に入る部分に接着剤を塗布してから押込み、100mm間隔に釘打ちしてください。釘は、スクリュー釘32mm(鼻の出25mm以下の場合)が適当です。
- ケコミ板と踏板は2面接着剤付けして、踏鳴り防止のために、当て板(合板)で補強・固定してください。
- ケコミ板下部と踏板の固定は、釘打ち部の塗装面をサンドペーパーですりおとして接着剤付けし、38mmのスクリュー釘で100mm間隔以下に千鳥に打ちつけてください。(並べて打つと割れが入りやすくなります。)
- 踏板の側板への大入れは、接着剤併用のクサビをすき間のないように入込み、クサビを側板に釘又はねじで固定します。



- 踊り場を施工する際は、必ず補強材を組上げてください。補強材と踊り場を固定する際には、接着剤を塗布し、下穴をあけてからビスで固定してください。(ビスピッチ303mm以内)

※集成材の場合は、踊り場の裏面に塗装が施されていますので、必ず木地がでるまでサンドペーパーで研磨してから、取付けてください。



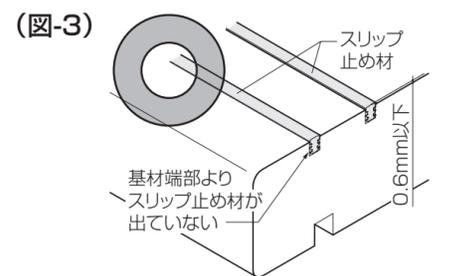
3 仮並べ

●階段Rタイプ、階段タイプPは集成材・突板が使われており、少しずつ違った色柄が天然の木目の良さを表します。部材の取付けをはじめる前に必ず色柄を確認し、あらかじめ薄手の色から濃い色順にするなど、仮並べのうえ調整してから順に組合せてご使用ください。

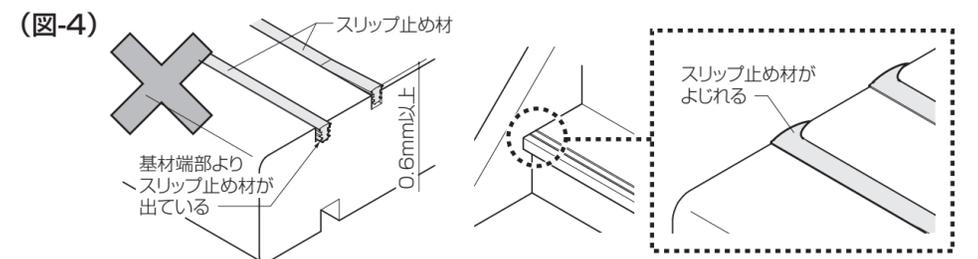
4 躯体の確認

- 階段取付部の柱が垂直となっているか確認してください。又、廻り側板どうしは必ず直角となるように取付けてください。
- 側板・ささら桁・親柱などを受ける床下部分には、梁や大引など受け材が必要です。廻り踏板や踊り場の下地にも根太を入れてください。

●S階段の踏板、上段框、廻り踏板を側板大入れ加工にはめ込む際は、スリップ止め材の寸法が0.6mm以下であり、基材端部よりスリップ止め材が出ていないことを確認してから施工してください。(図-3)



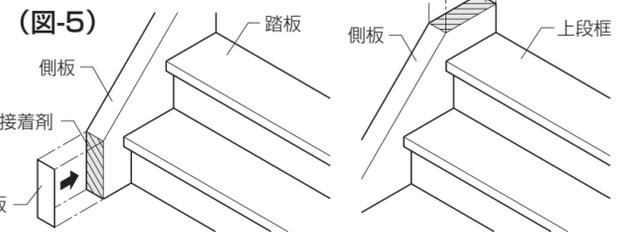
※スリップ止め材の寸法が0.6mm以上だったり、基材端部よりスリップ止め材が出ている状態で施工した場合、スリップ止め材がよじれる可能性があります。必ずスリップ止め材を0.6mm以下に押込み、又端部から出ている場合はカッターなどでカットしてから施工してください。(図-4)



4 木口単板の張り方(図-5、6)

●側板には階段木口単板が同梱されていますので、側板の木口露出部分に単板を合わせてカットし、市販の速乾性接着剤で両面接着してください。

※階段Rタイプの側板には、木口単板は同梱されていません。木口露出部分は現場塗装してください。(有償部品・補修液をご使用ください。)



5 オープン階段(ストリップタイプ)の施工

●部材の加工

ささら桁、踏板に相欠き仕口加工をしてください。ささら桁から踏板段鼻までの寸法が120mm以下となるようにし、ささら桁と踏板の間にすき間ができないよう加工してください。

●ささら桁の取付け(図-7、8)

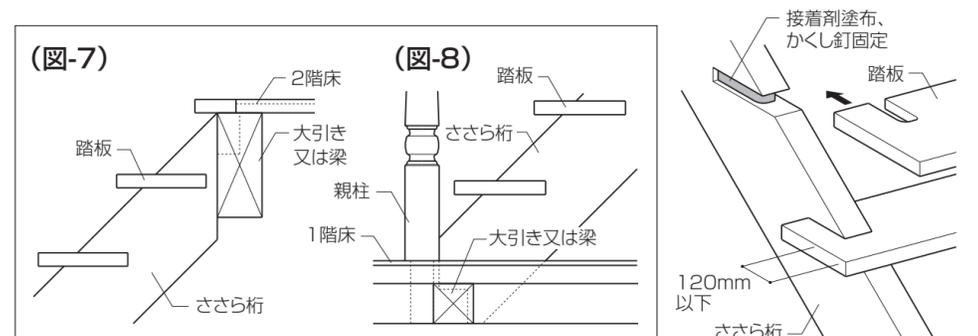
ささら桁は、大引き又は梁に取付けてください。大引き又は梁をゆすり、ガタツキのないことを確認してから取付けてください。ささら桁を取付けた後に、ささら桁をゆすり、ガタツキがないことを確認してください。

●踏板の取付け(図-9)

ささら桁の加工部分に接着剤(現場手配)を全面に塗布し、踏板をささら桁にはめ込み、かくし釘で仮固定してください。ささら桁と踏板の間にすき間がないようにはめ込んでください。接着剤は必ず塗布し、施工完了後48時間は力をかけないでください。接合部の塗布なし、接着不良により、踏鳴り、ガタツキの原因となります。

●親柱の取付け

親柱を施工する場合は階段と同時に施工し、大引き又は梁に取付けてください。(図-9)



■施工後のお願い

1 養生について

- 施工後は、木屑や砂・ゴミをきれいに取除いて、養生シートおよびベニヤ又は養生カバーなどですき間なく養生してください。養生シートの固定に市販のガムテープなどを利用しますと、粘着力が強く、化粧単板および塗膜のはがれの原因となりますので、必ず当社指定(別売り)の養生テープをご使用ください。
- 養生テープを張り、はがす際は表面の着色が取れたり、養生テープの糊面が残らないようゆっくりはがしてください。なお、踏板や笠木、ボーダーの裏面には養生テープを張らないでください。着色がはがれるおそれがあります。

2 補修について

- 下記の補修材を有償部品にてご用意しています。
 - リビング建材補修キット
 - 補修液
 - 補修用ウッドパテ
 詳細はカタログでご確認ください。

3 ワックスについて

- 階段にはワックスを使用しないでください。